



# 補習校だより

No. 38 (通算122号)

文責 大抜

Home page ; [miamihoshuko.org](http://miamihoshuko.org) E-mail : [hoshuko@bellsouth.net](mailto:hoshuko@bellsouth.net) Tel/Fax : 305-225-6390

## 本日は学芸会

### 練習の成果を本番に！

本日は、学芸会の本番です。冬休みの家庭学習に始まり、この日に向けて練習を積み重ねてきた子どもたち。日本語学習の発表の場である学芸会で学級一丸となって大いに頑張っておほしいと思います。

**開会式 12時45分 閉会式終了 15時30分**



	発表演題と発表の見所	発表予定時間
1	<b>(幼稚部) 「11匹きのねこ」</b> お腹をすかせた11匹のねこたちが大きな魚を探しに旅に出ます。さて、お腹がいっぱいに魚を食べるのでしょうか？ひとりで台詞を言うのは少し恥ずかしいけれど頑張ります！自分たちで作った道具を出したり、動いたりします。ねこの歌もとてもかわいいですよ。	13:00
2	<b>(小2) 「3まいのおふだ」</b> このお話は、青森県の昔話で、小僧が夜中におばあさんの正体を知って仰天したという所から始まり、お礼を使って逃げる小僧と、逃がすまいと追いかけてくる山んぼとのスリリングなシーンが見所です。方言や抑揚に注意して練習しました。衣装は、お母さん方の心のこもった手作りのものです。ご覧下さい。	13:15
3	<b>(小5) 「わらぐつの中の神様」</b> 題材は、教科書の中から選びました。時代は皆さんのおじいさんおばあさんよりもう少し以前、場所は雪国のある村の大工さんとおみつさんの、ほのぼのとした心温まるお話です。長い会話や文章、使い慣れない言葉を、気持ちが伝わるように一生懸命練習しました。	13:25
4	<b>(小1) 「くじらぐも」 他</b> 1年生の子供たちの大好きな「くじらぐも」を全員で力を合わせて発表します。「くじら」と「子供たち」の楽しい掛け合い、ぴったりと息の合った地の部分の発表をお楽しみください。	13:40
5	<b>(中1) Yell(エール)</b> 中学部に進み、今まで以上に現地校と補習校の両立が難しくなる中、子どもたちは家族や仲間を支えられ、友達同士で励まし合いながら頑張ってきました。そんな自分たち自身へ、そして大切な人へ向けての「ありがとう」と「頑張ってお！」の思いを込めた応援のメッセージです。	13:55
6	<b>(小3) 落語「じごくのそうべえ」</b> 軽業師のそうべえは、つなわたりの途中でバランスを崩し、命を落としてしまいます。閻魔大王のおさげで、そうべえは途中で出会った歯抜き師、医者、山伏といっしょに地獄へ送られます。ところがこの四人、知恵と機転で暴れ回り…。あとは聞いてのお楽しみ。	14:15

7	(中2) 「言葉」「Winding Road」	14:25
	<p>昨年の大震災後に谷川俊太郎さんがつくった「言葉」という詩を心を込めて、そして、コブクロ／綾香の「WINDING ROAD」を発表します。非常に少ない練習時間しか確保できない中、自分たちの意見を出し合い、工夫しました。</p>	
8	(小4) 「初雪のふる日」	14:35
	<p>4年生の教科書に出ている初雪が降る日の不思議なお話です。一人でセリフを言うところ、いろいろなグループに分かれて言うところがあります。おまじないや石けりのリズムカルなセリフを元気よく発表します。</p>	
9	(小6)「雨ニモマケズ」 1年前の出来事～8人の若き詩人たち～	14:50
	<p>今年、6年生は国語科で学習した宮沢賢治の代表作「雨ニモマケズ」を東北弁で、また、昨年東北を襲った東日本大震災をテーマとした自作の詩を発表します。東北弁の暖かさ、六年生という多感な時期に起こった大災害についての思いをお聞き下さい。</p>	
10	(中3) 詩「みみをすます」「光はここに」 他	15:05
	<p>詩人谷川俊太郎は、人類愛、地球に対する愛を意識して生きることを摂理とし、それを短い、平易な言葉に凝縮して具現しています。言葉遊びを呈していることが多く生き生きした言葉の躍動も楽しんでいただきたいと思います。「光はここに」は、東北大震災で壊滅的な被害に遭った石巻の大川中学校の生徒の我慢に耐え希望に光に向かって歩いていこうという、力強くも、気高い作品です。</p>	
11	閉 会 式 (講評)	15:20